



平成 21 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 三光ソフランホールディングス株式会社  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高橋 誠一  
(コード番号 1729 大阪証券取引所  
〈ヘラクレス市場〉)  
問 い 合 せ 先 執行役員経営企画室長 有保 誠  
T E L 048-669-1300

### 特別損失の発生及び業績修正に関するお知らせ

特別損失の発生及び最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 1 月 14 日に公表いたしました平成 21 年 8 月期の第 2 四半期連結累計期間に関する業績予想の修正を決議いたしましたので、以下のとおりお知らせします。なお、通期の見通しに関しましては、変更はございません。

#### 記

#### 1 特別損失の発生及び内容

平成 21 年 8 月期第 2 四半期連結累計期間の業績において、投資有価証券評価損 2 億 43 百万円を特別損失として計上いたしました。

#### 2 第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,000	350	200	△80	円 銭 △1.35
今 回 修 正 予 想 (B)	12,952	303	236	△235	△3.96
増 減 額 (B-A)	△48	△47	36	△155	—
増 減 率 (%)	△0.4%	△13.4%	18.0%	—	—
(ご参考) 前年第 2 四半期実績 (平成 20 年 8 月第 2 四半期)	11,664	412	12	△380	△6.28

3 平成 21 年 8 月期 連結業績予想の修正（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）

修正は、ありません。

4 修正の理由

現在の世界的な金融不安を背景に建設・不動産関係業界の先行きは不透明であり、個人消費者の戸建住宅や投資用マンションの不動産購入意欲も後退していることから、当面は、この状況が継続すると考えております。

このような環境下、当社グループでは、ストックビジネス（賃貸管理事業及び介護事業）における事業展開の加速による収益基盤の強化に加え、建設事業及び不動産販売事業におけるローコストオペレーションの徹底、グループ会社間における連携強化による相乗効果の追求等に注力しております。

この結果、当第 2 四半期連結会計期間における当社グループの売上高、営業利益、経常利益は、前回（1月14日）発表の業績見通しを、ほぼ達成いたしました。しかし、上記「特別損失の発生及び内容」で記載のとおり株式市況等の低迷を背景に、特別損失として投資有価証券評価損を計上し、当期純利益は、前回公表の業績見通しを下回る結果となりました。

以上